

たいよう新聞

473号

6月10日発行

2025年3月に認定!

健康経営優良法人

活動レポート

当社はこの度、「健康経営優良法人2025」に認定されました。
とはいえ、「健康経営」とは何なのでしょう?
具体的な活動内容やメリットについて共有いたします。



管理本部 総務部 副部長

Mさん

健康経営優良法人制度とは?

特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業を、「見える化」する制度のことです。従業員や求職者、関係企業、金融機関などから、社会的な評価を受けることができる環境を整備することを目的に、日本健康会議が認定を行っています。

健康経営の取り組みを始めた経緯

きっかけは加藤社長からのご提案です。従業員の健康と企業イメージの向上を目指し、当社も挑戦してみようというお話を2022年にいただきました。そこから準備期間を経て、2023年に取り組みを開始。翌年の2024年、そして引き続いて今年も無事に認定を受けることができました。

健康経営で得られる4つのメリット

1

企業価値の向上

健康経営に取り組むことで、従業員の生産性やモチベーションが向上し、結果として企業の業績やブランド価値の向上につながります。

3

医療費の抑制

従業員の健康維持・増進により、病気による休職や退職のリスクが減り、医療費や社会保障費の抑制に貢献することができます。

2

人材確保・定着への貢献

健康を重視する企業は求職者にとって魅力的であり、優秀な人材の確保・定着につながります。

4

地域社会や取引先からの信頼の向上

健康経営に取り組むことで、社会的責任を果たしている企業として地域や取引先、投資家などの信頼を得やすくなります。また、名刺に健康経営のロゴを入れられるようになるのも大きなメリット。それが会話の糸口になることも少なくありません。

取り組み内容

1 健康診断の実施と再検査等の受診勧奨

まずは従業員の健康診断の実施。こちらは毎回、受診率実質100%を達成しています。その他は再検査・精密検査対象者に対する受診勧奨。これらは健康経営の認定を受けるための必須項目です。



当社自動販売機

現在感じている課題

健康の重要性に対する周知が、まだまだ行き届いていない

社員の皆さんへの周知が不足していると感じています。仕事が忙しくなってくると、健康はどうしても後回しにされがち。しかし健康を維持し続けることができれば、今のようにイキイキと働くこともできなくなるでしょう。とはいえ、健康と生産性の関係を明確に表すのは難しいことも事実。今後も日々の活動やたいよう新聞を通じて、健康の大切さを周知していければと思っています。

それでも活動を始めたころに比べれば、少しずつですが皆さんの関心が高まっているのを感じています。最初は「健康経営って何？」という状況でしたが、最近は社員インタビューでも話題に出して下さる方が増えてきました。本社や各支店では認定証を目につきやすい場所に掲示しているので、そちらも周知に一役買っているのかもしれません。



ベジチェック風景

2 情報発信などを通じた健康に対する興味促進

当社ではポータルサイトの回覧板へ健康に対する情報を随時掲載しております。その他、以前のたいよう新聞でもご紹介した「ベジチェック」も、私たちの活動の1つ。新入社員研修や安全大会、各得意先や協力会社の方々をお招きする社外イベントなどで機械を設置し、お試しいただいています。また、本社や一部の拠点では、社内にある自動販売機の中身も変更しました。野菜ジュースや機能性飲料を、いつでも購入できるようにしています。

社員の皆さんへ

社員の皆さんのご協力のおかげで、今年も健康経営優良法人の認定を受けることができました。健康は今日明日で変わるものではありません。毎日コツコツと積み重ねることが大事です。これからも楽しく日々を過ごすために、健康を意識しながら頑張っていきましょう！

最前線レポート

某N共同住宅 沈下修復工事

太洋基礎工業が担当したさまざまな現場を紹介するこの企画。今回は、京都市内の共同住宅の沈下修復工事の現場をご紹介します。制約された作業空間、そして築40年という歳月を重ねた建物。数々の難題が待ち受ける中、いかにしてこの困難なミッションを遂行したのでしょうか？

大阪支店 環境開発部 副部長

Sさん



現場概要

施工期間	2025年1月20日～2月18日
場 所	京都市内
発 注 者	某N共同住宅オーナー様
元 請	匿名
現場体制	太洋基礎工業株式会社1名、下請4名
施工目的	建物の一部(擁壁の背面側)の沈下を修復するためのアンダーピニング工法(鋼管杭圧入によるレベル修正)工事



現場の特徴



狭小地のため資材の運搬は手運び

今回工事をした現場の建物は約40年前に建築された共同住宅です。オーナー様は、これまでに幾度もリフォームするなど、手をかけられてきましたが、経年によりすでに沈下が進行し、建物の土台の傾きを直しても、部屋の中が完璧に水平にならない状態でした。

また、一番の特徴は、現場が狭小地であったことです。私道に進入できるのは、軽トラックのみ。さらに、「現場から軽トラックまでの約40m区間では、掘削残土及び資材の運搬は一輪車等で手運びしなければならない」という施工条件でした。

苦 労した点と乗り越え方

判断に迷い、上長にアドバイスを求めた

築年数を重ねた建物であり、参考となる資料も限られた状況下だったため、試行錯誤しながら施工を進めるほかありませんでした。さらに、後に計画段階では把握しきれいかなかった深基礎の存在が明らかに。計画変更を余儀なくされながら、最善の施工方法を模索する必要に迫られました。その都度、新たな方針を決定しなければならず、判断に苦慮しましたが、上長をはじめ、経験豊富な協力会社の皆様に助言を仰ぎ、その知恵を借りながら工事を遂行しました。

現場を振り返って



地盤改良工事の重要性を再認識

沈下修復工事に携わることで、沈下の原因のほか、その地域の土の特質も肌で感じることができます。それは、改めて地盤改良工事の重要性を認識するきっかけにもなるでしょう。時代はマニュアル化、簡素化などと変化していますが、それだけでは解決できない問題が起こりえます。古風ではありますが、見て、触って、感じるといった感覚を大事にしながら、これからも創意工夫のある地盤改良工事に携わっていきたいと思います。



印象深かった出来事

ほぼ人力での作業だったため、特に協力会社の方々にとっては体が資本だと思います。共同住宅の1室を休憩室として利用させてもらったことで、休憩時間を快適に過ごすことができました。厳しい状況でしたが、無事に笑顔で終われたことが何よりの思い出です。

部長就任に寄せて

今期から部長を任せていただき、感謝とともに身の引き締まる思いです。今後も組織が成長していけるよう、部員全員が力を発揮できる環境づくりに注力していく所存です。具体的な目標は、相談事や意見を気軽に上げられるような、風通しの良いチームをつくること。そのためには報・連・相を徹底するとともに、私自身も頼られる存在にならなくてはなりません。部下の話をよく聞き、責任を持って決断し、ともに高め合っていきたいと思っています。より良い組織にしていくために、ぜひ皆さんからも積極的に意見を挙げてください。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

部長になって意識した体調管理の重要性

最近の内勤の仕事が増えたせいか、運動不足を強く感じるようになりました。現場に行かなくなった分の運動を他で補いながら、同時に食生活にも気をつけなければと思っています。まずは帰宅後、私と同じく運動不足の犬を連れて、毎日10分程度のウォーキングを始めました。暖かくなってきたため、趣味の海釣りに行く頻度も増やしていくつもりです。また、食に関しては野菜の摂取を意識。以前は朝食を抜くことも多かったのですが、最近は3食バランス良く食べることを心がけています。



長野支店
工事部 部長 Tさん

Taiyo Report

たいようレポート

入社式を行いました。

開催日 2025年4月1日(火)

今年も新たな仲間が加わりました。
新入社員の成長と活躍を期待しております。



太洋基礎工業株式会社 第58期 定時株主総会



第58期定時株主総会を開催しました。

開催日 2025年4月23日(水)

株主の皆様におかれましては、今後とも
ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

👑 月間MVP賞 👑



長野支店 工事部

Kさん

推薦理由

業務に責任感を持って臨み、繁忙期には現場業務が滞ることなく対応。支店内においても頼もしい存在となっています。Teamsを軸に、さまざまなツールの組み合わせによって、Kさん自身、常に定刻内に業務を終え、職員の作業効率アップにも多大なる力を発揮されています。今後、資格を取得し、さらなる活躍の期待を込めて月間MVPに推薦いたします。

(推薦者 長野支店 副支店長 Wさん)



※月間MVP賞は当社社員だけではなく、協力会社の皆さまも表彰の対象となっています。自薦、他薦は問いません。多くの受賞者が出ることを期待しています。